

『心身医学用語事典 第2版』正誤表

頁	項目(用語)	行	誤	正
iii	執筆者		後山尚之	後山尚久
iv	執筆者		狭間秀文	狹間秀文
3	阿闍世コンプレックス	↓1	阿闍世物語に基づく	阿闍世物語に基づく
7	アロデニア	↓5	A δ 線維が疼痛感覚を	A β 線維が疼痛感覚を
29	親面接	↓3	親や家族の問題を	親や家族の問題を
55	気分障害	↑6	軽そう病相	軽躁病相
60	強迫神経症	↑4	精神分裂病やうつ病	統合失調症やうつ病
68	芸術療法	↓3	成人では精神分裂症,	成人では統合失調症,
72	月経前症候群	↑4	著しく傷害するほど	著しく障害するほど
82	行動療法	↑2	行動変容を測ろう	行動変容を図ろう
83	抗不安薬	↓1	ベンゾジアセピン	ベンゾジアゼピン
91	睡眠療法	↓6	⑩討憶の想起の促進,	⑩記憶の想起の促進,
94	自我構造	↑1	(子どもの自我状態)	C(子どもの自我状態)
96	自己愛(ナルシズム)	↑5, 3	ナルシズム	ナルシシズム
103	ジスキネジー		dykinesia	dyskinesia
103	指尖容積脈波		finger top plethysmogram	finger tip plethysmogram
105	質問紙法	↓3	人格検査など	パーソナリティ検査など
106	質問紙法	↓3	解答によって	回答によって
111	受容	↑1	コフト	コフト
118	自律神経系	↓6	コリン作動性物質やを放出	コリン作動性物質を放出
118	自律神経系	↑2	内的環境の維持内的環境の維持	内的環境の維持
124	心因反応	↑5	原則として心因反応は	原則として心因反応は
131	尋常性座瘡	↑2	軽症のざ瘡	軽症の座瘡
135	心身相関	↓1	W.S.Cannon	W.B.Cannon
135	心身相関	↓2	“fight or Right”	“fight or flight”
138	心的外傷	↓5	独自め概念で,	独自の概念で,
139	人物画テスト	↓1	投影法人格検査	投影法パーソナリティ検査
144	睡眠時無呼吸症候群	↓3	帰因して換気が	起因して換気が
154	精神生理学	↓2	W.S.Cannon	W.B.Cannon
158	生体リズム	↓4	約25時間である.	約25時間である.
164	セルフ・ヘルプグループ	↑2	日本にもSGH	日本にもSHG
167	躁うつ病	↑2	躁うつ病と精神分裂病	躁うつ病と統合失調症
179	知能指数	↓1	知能指数が計られ,	知能指数が測られ,
192	東洋医学的アプローチ	↓2	針灸	鍼灸
194	読書法	↓1	bibliotherapy	bibliotherapy
197	ナルコレプシー		Gelineau's syndrome	Gélineau's syndrome
200	日本心療内科学会	↓6	社会的に貢献しよう	社会的に貢献しよう
202	認知行動療法	↑6	人格障害,	パーソナリティ障害,
213	発達障害	↑5	感覚鈍磨	感覚鈍麻
215	汎下錐体機能低下症	↓6	向副腎皮質ホルモン	副腎皮質刺激ホルモン
216	光フィードバック	↓6	赤色発行ダイオード光	赤色発光ダイオード光
223	不安階層表	↓4	系統的脱感作法療	系統的脱感作療法
228	不妊症	↓4	体外授精	体外受精
238	防衛機制	↑1	人格障害や	パーソナリティ障害や
251	夢中遊行	↓1	3/1	1/3
260	夜尿症		nocturnal	nocturnal enuresis
262	養育態度	↑5	完璧を目指す母親と	完璧を目指す母親と
265	ライフスタイル	↓3	疾病があると肥えるのが	疾病があると捉えるのが
265	ライフスタイル	↑2	疾病の予防に連なる	疾病の予防につながる
266	ラマーズ法	↑2	患者は6,000名の妊婦に	筆者は6,000名の妊婦に
288	欧文索引	左段↓6	nocturnal	nocturnal enuresis

『心身医学用語事典 第2版』修正項目

p.93

産褥期精神障害 puerperal psychosis

産褥期，特に出産後1週間から3カ月ごろに発症しやすい精神障害の総称。症状としては産褥期ブルー（マタニティブルー）maternity blue といわれる軽い抑うつ性症状から，不安困惑，心気退行，抑うつ，意欲低下，せん妄，錯乱，幻覚，妄想などが認められる。予後は一般に良好であるが，うつ状態が慢性化したり，統合失調症がこの時期に発症して長く経過するものもある。うつ症状が強い場合には不安焦燥を伴い，妄想も加わって自殺や嬰兒殺しの事故につながる場合があり注意を要する。初産婦に多く，分娩による母体の内分泌環境の変化，心身疲労，母性への変身という心的体験，新生児への心遣い，育児不安など各種の要因が発症に関係していると考えられている。またこの時期には，先行して発症した精神疾患が増悪することが多いので，この点についても注意すべきである。

p.144

睡眠覚醒障害 sleep and wakefulness disorder

睡眠覚醒障害の分類は，アメリカ睡眠障害連合会の睡眠障害国際分類第2版（ICSD 2nd, 2005年）がある。睡眠覚醒障害はおおよそ不眠症，過眠症，概日リズム睡眠障害，睡眠関連運動障害，睡眠時随伴症（パラソムニア）などに大別される。不眠症には状況因性・環境因性を含めた精神生理性不眠，薬物およびアルコール常用に伴う不眠，睡眠時呼吸障害に伴う不眠，睡眠衛生の障害に伴う不眠，適応性睡眠障害などがある。過眠症には特発性過眠症（長時間睡眠を伴うものと伴わないもの），ナルコレプシー（情動脱力発作を伴うものと伴わないもの），反復性過眠症などがある。概日リズム睡眠障害には時差症候群，交替勤務睡眠障害，睡眠相後退症候群，非24時間型睡眠覚醒症候群などが含まれる。睡眠時随伴症とは睡眠中に起こる異常現象で，覚醒障害，通常レム（REM）睡眠に伴う睡眠時随伴症などに分けられ，錯乱性覚醒，睡眠時遊行症，夜驚症，悪夢，レム睡眠行動障害など各種のものが含まれる。また睡眠関連運動障害としては，レストレスレッグス症候群，周期性四肢運動障害，律動性運動障害などがある。

p.144

睡眠時無呼吸症候群 sleep apnea syndrome

睡眠中通常 10 秒間以上持続する換気停止（無呼吸）のエピソードが反復してみられる症候群。発生機序から上気道閉塞に起因して換気が行われなくなる閉塞性無呼吸症候群と、呼吸中枢の活動が停止し肋間筋・横隔膜の呼吸運動消失によって生じる中枢性無呼吸症候群の 2 群が区別される。軽症では無自覚に過ごすこともあるが、多くは昼間の過眠、夜間の不眠、いびきなどを訴える。重症になると頭痛、全身倦怠、抑うつ気分、知的能力低下、性格変化などの愁訴のほか、長期にわたると高血圧、多血症、虚血性心疾患、右心不全などをきたす。睡眠障害国際分類第 2 版（2005 年）によると、自覚症状が存在する場合には、単位時間当たりの無呼吸・低呼吸回数 5 回以上が、自覚症状がない場合は 15 回以上が、病的と判断するカットオフになっている。治療としては病因、病態、重症度に応じて C-PAP 療法、口腔内装置（マウスピース）、狭窄部位の切除術などがある。

p.210

白衣性高血圧 white-coat hypertension

診察室高血圧 office hypertension とよばれ、病院の外来など医療環境では高血圧を示すが、医療環境以外では正常血圧を示す場合をいう。外来随時血圧は一般に家庭における自己測定血圧（家庭血圧）より高値を示す。この現象は白衣現象とよばれ、測定時の安静や短期間内の反復測定では消失せず、医師や診察に対するストレス反応（防御反応または警鐘反応）とされる。高血圧患者中の白衣性高血圧の頻度は 5~50%と報告により差があるが、正常血圧者よりもやや心血管系リスクが高く、治療の対象となる。一方、血圧の下げすぎは脳梗塞や心筋梗塞による死亡率を増加させる可能性が示唆されていることから、白衣性高血圧は降圧薬の過剰投与の原因としても注意を要する。白衣性高血圧とは逆に、病院の外来などの医療環境では正常血圧を示すのに、医療環境外では高血圧を示す場合がある。これを仮面高血圧 masked hypertension とよぶ。仮面高血圧の病態には、職場や家庭のストレスによる血圧の上昇のほか、睡眠時呼吸障害によって本来低下を示すべき夜間の血圧低下が起こらない場合（non-dipper）も含まれる。仮面高血圧は、高血圧による臓器障害の原因として重要であるが、外来随時血圧測定だけでは検出されない。したがって、高血圧症の診察では家庭血圧の測定が重要であり、さらに夜間の血圧の評価には携帯型血圧計による 24 時間血圧モニタが必要である。

p.252

明確化 clarification technique

心理療法の用語であり、治療法によって意味はさまざまである。特に精神分析では、治療場面で患者と治療者が表出した内容を言語的にはっきりと、意味として明確にする治療者の介入技法を指す。直面化と区別するのがむずかしいことが多く、直面化の場合と同様、意味の明確な表出が苦痛を伴うことへの支持が必要であることに特に注意を要する。分析場面ではこの支持は解釈の形でなされることから、実際の治療では明確化を行うという意識よりは支持と明確化を含んだ解釈を行うという意識で行われる場合が多いであろう。